

小学校 教諭

子どもたちからの 一言で 元気になれる

大阪市立開平小学校
浦野 勇介 教諭 採用2年目



■ 教職をめざした「きっかけ」は……

中学生のころに出会った先生が、時に優しく、時には厳しく、私たちと一緒にいろいろなことを喜んでくださる先生でした。「私も先生みたいになりたい」と思い、学校の楽しさを伝えられる教員をめざしました。

さらに、高校卒業後から小学生・中学生に野球やソフトボールを教える機会があり、人に何かを教える・伝えることの楽しさにも気づきました。

実際に、教員採用試験を受けるとなった時に、大阪市の「共に学び、共に育ち、共に生きる教育」という言葉を目にしました。誰一人取り残さない教育をめざしている大阪市内で自分も働きたいと思い、大阪市の先生をめざしました。

■ 教員になって感じる「魅力」は……

一番の魅力は、子どもからの言葉で元気になれることです。「しんどかったな」と思うときも、子どもからの一言で元気になっています。

また、子どもたちから「先生が担任の先生でよかった」「先生、ありがとう」などの言葉をもらったり、いつの間にか自分のまわりに子どもたちが集まっていたりする時に、改めて教員になってよかったな、と感じています。子どもたちが集まっている時は、それぞれの子どもたちに声をかけたり、一緒に遊んだりするなど、子どもたちとの時間を多く持つように心がけています。

教員になったことで、「人の気持ちを考える力」が、より身についたと思います。

■ 大阪市内で働く「魅力」は……

周りの先生方に話しかけやすいところが、大阪市の魅力だと思います。どの先生も、お聞きしたことに對して、必ずお話をいただけるので、話しかけやすく、教職員みなさまと、かかわりやすい職場だと感じています。

■ 教員になるまでに……

幅広い視野を持つことができるように、たくさんの方にチャレンジしました。いろいろな資格を取得したり、林間学習のキャンプファイヤーに関わる仕事に取り組んだりしました。自分の引き出しをたくさんつくることを心がけて常に学びに向かっていたいます。

自分の引き出しを増やしたことで、教員になってから、さまざまなところで役立てることができています。

■ 気持ちを切り替えるために……

なかなか仕事のことから離れられないことがありますが、家族や友だちとの時間や自分の趣味の時間をつくることを大切にしています。趣味のソフトボールや野球で身体を動かし、「休みの日には……したよ」など、子どもたちとのコミュニケーションにもつなげています。

24時間仕事のことを考えるのではなく、リフレッシュ時間をつくり、オン・オフのメリハリをつけるように心がけています。



私は、講師経験も長く、中学校現場で働いたり、学校とは異なる職場で働いたりもしました。何度も挫折しましたが、「諦めない気持ち」「最後までやり抜く気持ち」を忘れずに取り組んだことで、今、大阪市の教員として働いています。

みなさんも、自分に自信を持って、全力で挑んでください。常に諦めず、学びに向かい、周りの方々の話をしっかりと受けとめ、自分の力を高めていってください。応援しています！

1日のスケジュール

8:30	8:50			15:30	15:45	16:00	16:45	17:00	
出勤	朝の時間	授業開始	休み時間	給食指導	授業	事務作業	打合せ	次の日の	退勤

教室の環境整備・健康観察



担当している
業務の資料づくり、
授業の準備など

職員会議や打合せ、
行事の準備など

